

地元の会社を知って 高校生と保護者見学

秩父で企業見学会

秩父地域の高校生と保護者が地元企業を巡る企業見学会がこのほど秩父地域で行われ、参加者約110人が地元企業を見学した。

秩父地域の未来を考える政策プロジェクト会議(事務局・県秩父地域振興センター)の主催で、高校生の保護者を対象にした企業見学会は秩父地域で初の取り組み。秩父地域は20代人口の約17%が進学や就職を機に流出しており、地域内での就業への関心を深めることを目的としている。

参加者は6コースに分かれ、製造業や建設業など4、5社を見学。1日のDコース

には高校生や保護者計21人が参加し、製造業の新井精密や秩父電子などの4社を見学した。秩父電子では会社概要を聞き、工場内も見て回った。同社の強谷隆彦社長は「中小企業には温かみがあり、秩父



工場内を見学する高校生ら＝秩父市山田の秩父電子

で就職してもらえれば」と語った。

参加した県立皆野高校1年生の持田くるみさん(15)は「秩父にはすごい会社がたくさんあることが分かった」と話していた。(桜井和憲)